

神奈川建築コンクールについて

1 コンクールの概要

本コンクールは、建築文化、建築技術の向上並びに良好な市街地の形成に役立つ優れた建築物を表彰することで、県内の建築物の質の向上を図るとともに、安全で安心、かつ人や環境にやさしい魅力あるまちづくりを推進することを目的に、昭和 31 年から実施しています。

審査は、住宅部門、一般建築物部門それぞれに学識経験者などからなる審査委員会を設け、「企画力」「設計力」「施工力」、「既存建築物の有効活用、環境、景観、福祉、防災、その他（情勢を踏まえた取組等）」のいずれかに対する配慮」等を総合的に判断し入賞作品の選定を行い、主催者で構成する実行委員会で決定します。

2 審査経過

今回は、令和 3 年 6 月 1 日から令和 5 年 5 月 31 日までに工事が完了した建築物を対象に募集を行い、住宅部門、一般建築物部門合わせて 66 件の応募をいただきました。

審査委員会は、提出された書類、図面、写真で一次選考（書類審査）を行い、そこで選定した 20 件についてオンラインでのライブ配信等による現地審査のうえ二次選考を行い、入賞作品を選定しました。

	応募件数	一次選考通過件数	二次選考通過件数
住宅部門	35 件	11 件	9 件
一般建築物部門	31 件	10 件	9 件

3 入賞作品選評

- (1) 住宅部門 審査委員：内田青蔵
(写真：最優秀賞「西竹之丸の家」)



最優秀賞の「西竹之丸の家」は、傾斜地に住戸が密集している高台の道路沿いを敷地とした住宅である。

細長い建物の二つの妻面に大きな開口部を設け、一方は海側に、もう一方は道路側に開くという大胆な構成で、夜間は特に開口部からの明かりも放ち、地域に溶け込んでいる様子が窺える。密集した立地条件の場合、多くは周囲と断絶して閉じてしまう傾向がある中で、地域に開くことを意識したデザインが高く評価された。

- (2) 一般建築物部門 審査委員：鈴木信弘
(写真：最優秀賞「関東学院大学 横浜・関内キャンパス」)



最優秀賞の「関東学院大学 横浜・関内キャンパス」は、地下 1 階地上 5 階までを一般市民に開放し、学生と交流できるという構成で、従来の都市型高層キャンパスが管理上避けてきた形式であるが、駅前という立地条件を受け入れて利用場所を積極的に公開し、災害時の一時避難拠点として配慮するという試みが総合的に評価された。

4 神奈川県建築コンクール 関係団体・審査委員一覧

(1) 主催者

神奈川県 横浜市 川崎市 相模原市 横須賀市 藤沢市 鎌倉市
厚木市 平塚市 小田原市 秦野市 茅ヶ崎市 大和市

(2) 協賛団体

独立行政法人 住宅金融支援機構 一般社団法人 神奈川県建設業協会
一般社団法人 神奈川県建築士会 一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会
一般社団法人 日本建築学会関東支部神奈川支所
一般社団法人 神奈川県商工会議所連合会
公益社団法人 日本建築家協会関東甲信越支部神奈川地域会 J I A 神奈川
一般財団法人 神奈川県建築安全協会

(3) 後援団体

神奈川新聞社 日刊建設工業新聞社 日刊建設通信新聞社
t v k (テレビ神奈川) 建通新聞社 日本工業経済新聞社

(4) 令和5年度 審査委員

住 宅 部 門 : 内田 青蔵 神奈川大学 特任教授
山口 英生 一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会 副会長
古賀 紀江 関東学院大学 教授
鈴木 達也 神奈川新聞社 論説主幹
田井 勝馬 公益社団法人 日本建築家協会関東甲信越支部
神奈川地域会 J I A 神奈川 幹事
稲葉 佳彦 独立行政法人 住宅金融支援機構 地域業務第一部
横浜センター長

一般建築物部門 : 雨森 隆子 一般社団法人 神奈川県建築士会 副会長
藤岡 泰寛 横浜国立大学大学院 准教授
鈴木 信弘 一般社団法人 日本建築学会関東支部 神奈川支所 支所長
古木 賢治 一般社団法人 神奈川県建設業協会 理事・建築委員
宇留間 雅彦 一般財団法人 神奈川県建築安全協会 常務理事
長谷川 伸 一般社団法人 神奈川県商工会議所連合会
相模原商工会議所 専務理事